SONY

IC レコーダー

クイックスタートガイド

ICD-TX50

4-300-039-02(1)

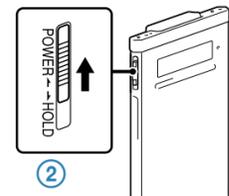
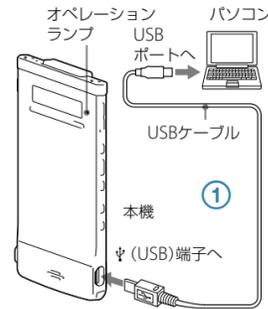
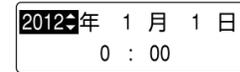
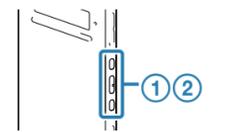
はじめに

本書はICレコーダーをはじめてお使いになるときに必要な準備、基本的な録音、再生、消去の操作方法や、上手な録音方法などを説明しています。その他機能の説明や、詳しい操作方法は、別冊の取扱説明書をご覧ください。

箱の中身を確認する

- 本体（1）
- 防振アタッチメント（1）

- ステレオヘッドホン（1）
- USBケーブル（1）
- パソコン用アプリケーションソフト Sound Organizer（CD-ROM）（1）
- キャリングポーチ（1）
- 取扱説明書（1）
- クイックスタートガイド　本書（1）
- 保証書（1）

使ってみよう

1. 電源を入れる

① 本機を充電する。

1 本機をパソコンにつなぐ。
本機の(USB)端子と起動しているパソコンのUSBポートを、付属のUSBケーブルでつなぐと、充電が始まります。充電中は「接続中」と、電池マークがアニメーション表示されます。
充電が完了すると、「FULL」と表示されます。

2 本機のオペレーションランプが消えていることを確認し、本機をパソコンから取りはずす。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

② 画面が表示されるまで、POWER•HOLDスイッチを「POWER」の方向へスライドさせる。

電源が入ります。

電源を切るには、「電源オフ」が表示されるまで、POWER•HOLDスイッチを「POWER」の方向へスライドさせます。

2. 時計を合わせる

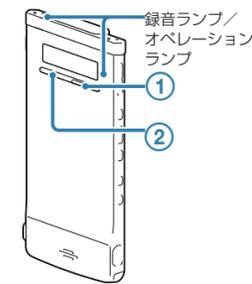
お買い上げのあと、時計が設定されていないときは、「時計を設定してください」のメッセージが表示され、「時計設定？」の確認画面が表示されます。

① ⏮または⏭ボタンを押して「はい」を選び、► /ENTボタンを押す。

時計設定画面が表示され、年表示が点滅します。

② ⏮または⏭ボタンを押して年の数字を選び、► ／ENTボタンを押す。
同じ操作を繰り返し、月、日、時、分の順に設定する。

BACK/HOMEボタンを押すと、項目を戻ることができます。
「分」の数字を選び、► ／ENTボタンを押すと、「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、時計の設定が完了します。

3. 録音する

録音を始める前に、POWER•HOLDスイッチが中央位置にあることを確認してください。

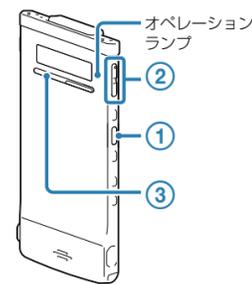
① ●REC/PAUSEボタンを押す。

録音が始まり、録音ランプとオペレーションランプが赤く点灯します。

② 録音を止めるには、■STOPボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、オペレーションランプがオレンジに点滅し、録音が停止します。

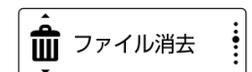
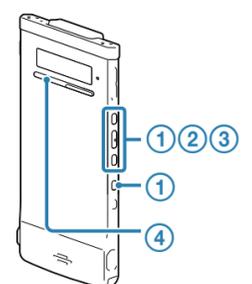
録音中に●REC/PAUSEボタンを押すと、録音が一時停止します。再度押すと、録音が再開します。

4. 再生する

① ► ／ ENTボタンを押す。

再生が始まり、オペレーションランプが緑に点灯します。

② VOL －／＋ボタンを押して、音量を調節する。

③ 再生を止めるには、■STOPボタンを押す。

5. 消去する

ファイル消去

ご注意
一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。ご注意ください。

① BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニューを表示し、⏮または⏭ ボタンで「ファイル消去」を選び、► /ENTボタンを押す。

② ⏮または⏭ ボタンで「1ファイル消去」を選び、► /ENTボタンを押す。

「1ファイル消去？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

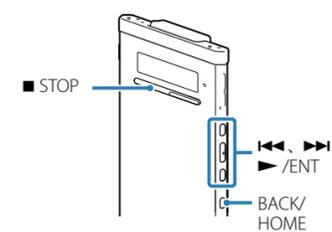
③ 「はい」を選び► ／ ENTボタンを押す。

ファイルが消去されます。

④ ■STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

こんなこともできます

ICレコーダーの準備、基本的な録音、再生、消去の操作方法は以上です。
あなたも今日からICレコーダーのユーザーの仲間入りです。さらに、ICレコーダーを使いこなすために、便利な機能の一部をご紹介します。

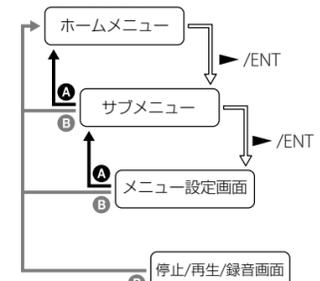
ホームメニューについて

本機のBACK/HOMEボタンを押したまま（長押し）にすると、ホームメニューが表示されます。ホームメニューは、本機の各機能の入り口になり、各種設定、変更ができます。

シーンセレクト
ファイル選択
ファイル消去
編集

ホームメニューには、5項目あり、⏮ または ⏭ ボタンを押して項目を選び、► /ENTボタンを押して決定します。

- SCN シーンセレクト
- ファイル選択
- ファイル消去
- 編集
- 設定

ホームメニューの操作方法

⏮ または ⏭ ボタンを押して項目を選び、► /ENTボタンを押すと、1階層下の画面に移動します。
BACK/HOMEボタンを押すと、1階層上の画面に戻ります。BACK/HOMEボタンを長押しすると、どの階層にいても、ホームメニュー（シーンセレクト）に戻ります。

Ⓐ: BACK: BACK/HOMEボタンを押す。
Ⓑ: HOME: BACK/HOMEボタンを長押しする。

ホームメニューを終了するには、■ STOPボタンを押す。

クリップの使いかた

本機を、ワイシャツなどの胸ポケットにクリップで固定してお使いになることができます。

防振アタッチメント（付属）を取り付けるには

付属の防振アタッチメントを本体に取り付けると、机などに置いたときに机からの振動ノイズを低減することができます。
防振アタッチメントの下の部分を本体クリップ部分に斜めにはめ（①）、防振アタッチメントの口部分を押してクリップにカチッと固定します（②）。

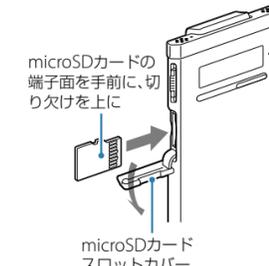
取りはずすときは、防振アタッチメントの上の部分を②とは逆方向に、手前にはずします。

microSDカードの使いかた

本機では、内蔵メモリーの他に、別売のmicroSDカードに音声を記録できます。

停止中に、microSDカードスロットカバーを開け、microSDカードを上図の向きにカチッと音がするまでしっかり差し込みます。

microSDカードを取り出すには

停止中に、microSDカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、microSDカードスロットから取り出します。

メモリーを切り換える

使用するメモリーを、内蔵メモリーとmicroSDカード間で切り換えることができます。

① 停止中、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー→「設定」→「メモリー切り換え」を選び、► /ENTボタンを押す。

② ⏮または⏭ ボタンで「内蔵メモリー」または「microSDカード」を選び、► /ENTボタンを押す。

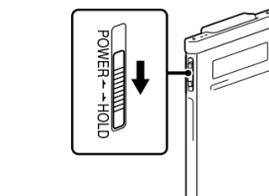
③ 停止画面に戻すには、■ STOPボタンを押す。

「microSDカード」を選択した場合は、画面に「」が表示されます。

詳しい操作方法については、取扱説明書27ページをご覧ください。

スタンバイ機能と省電力モード

本機では、待機時の消費電力を低く抑えながらもすぐに起動できるスタンバイ機能と、使用時の電池消費を低く抑える省電力モードをお使いになれます。

スタンバイ機能について

停止中にPOWER•HOLDスイッチを「HOLD」側にスライドすると、スタンバイ状態に入ります。スタンバイ状態では、待機時の電池消費を低く抑えることができます。POWER•HOLDスイッチを中央位置に移動し、ホールド状態を解除すれば、すぐに操作を開始できるため、すぐに起動したいときなどに便利です。

省電力モードで使う

本機では、電池の消耗を抑えるため、お買い上げ時に「省電力モード」が「オン」に設定されています。操作をしないまま停止時は約5秒、録音、再生時も約10秒経過すると、画面表示が消えます。画面表示が消えた状態でも、ボタン操作を行うことができます。画面を表示したいときは、BACK/HOMEボタンを押します。

上手に録音、再生するために

ノイズとして録音される可能性のある音について

ノイズの原因となる音

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。

- 本機に触れたときに入る音（タッチノイズ）
- 衣服と擦れる音（胸ポケットにいれている場合など）
- 振動音（机やピアノなどに置いた場合など）
- エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音
- 周囲の余計な音（講演会や授業の場合など）
- 口元で録音したときにマイクにあたる吐息（吹かれ音）

録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音を遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況に応じた「録音モード」を選んでください。ノイズが気になる場合は、録音モードを高音質モードに設定することをおすすめします。
- 状況に応じた「マイク感度」を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、マイク感度の設定を下げてみてください。
- メニューの「LCF(LOW Cut)」（ローカットフィルター機能）を「オン」にすると、エアコンの風の音やプロジェクター、パソコンなどのファンの音が軽減されて聞きやすくなります。

ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。
録音環境は人によってさまざまです。
望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。
ためし録りは、大切な録音を失敗しないため、また、理想の音質に録音環境を整えるために大変有効なものです。
ためし録りのとき、録音モニターをしながら確認するポイントは以下の通りです。

- マイク感度や録音モードの設定は最適か？
- 本機の置き場所や向きは最適か？
- 「LCF(LOW Cut)」（ローカットフィルター機能）を使用する必要がある環境か？

「状況に応じた録音方法」の例にしたがって、シーンや置き場所を適切に設定してください。

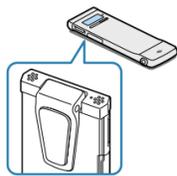
状況に応じた録音方法

胸ポケット録音

スーツやワイシャツの胸ポケットにクリップで留めることで、衣服との擦れによるノイズを低減できます。
シーンセレクトを使うときは、「胸ポケット」を選びます。

本体をポケットの右端か左端に寄せてとめることで、よりよく衣擦れの音を低減できる場合があります。その際、スーツの襟が本体マイクを隠さないように注意してください。

会議録音

机の上に置いて録音する場合、付属の防振アタッチメントを本体に取り付けると、ノイズを低減できます。さらに、付属のキャリングポーチやハンカチなどの上に本機をのせることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。

発表者に近い場所で録音してください。

シーンセレクトを使うときは、「会議」を選びます。

授業・講演会録音

マイクを音源の方向に向けて録音します。
シーンセレクトを使うときは、「会議」を選びます。

メモ録・口述録音

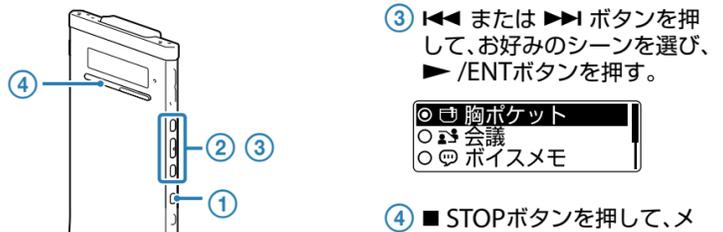
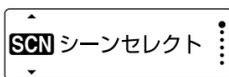
録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。　シーンセレクトを使うときは、「ボイスメモ」を選びます。

ご注意
本機を手に持って録音するときは、本機に触れたときのノイズ（タッチノイズ）が録音されないようご注意ください。

インタビュー録音

マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。
シーンセレクトを使うときは、「インタビュー」を選びます。

用途に合わせた録音シーンを選ぶ（シーンセレクト）

ホームメニューの「SCN シーンセレクト」で、録音に適したシーンを選ぶことにより、メニューの録音モードやマイク感度など、録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。

1. 停止または再生中、ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押したままにする。

2. ► /ENTボタンを押す。
   シーンセレクト選択画面が表示されます。
3. ⏮ または ⏭ ボタンを押して、お好みのシーンを選び、► /ENTボタンを押す。

胸ポケット
会議
ボイスメモ

4. ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

胸ポケット	ワイシャツの胸ポケットに入れて録音するときに適しています。
会議	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
ボイスメモ	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
インタビュー	1～2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
Myシーン	お好みのセッティングを保存しておくためにご利用ください。

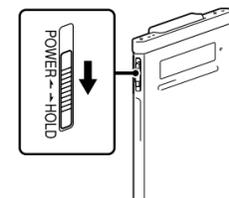
シーンセレクトの設定項目をお好みに編集する

それぞれのシーンの設定は、お好みに合わせて編集することができます。
ご自分の環境に適した設定に編集しておくことで、常に最適な状態で録音を行うことが可能です。

停止・再生中に、BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニュー →「設定」→「録音設定」→「シーン編集」で編集することができます。

シーン編集の詳しい操作方法については、取扱説明書33ページをご覧ください。

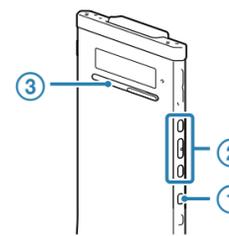
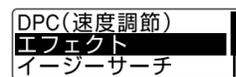
誤操作を防止する

本機を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます（ホールド）。

電源が入っているときにボタン操作をできないようにするには、POWER•HOLDスイッチを「HOLD」の方向にスライドします。

「HOLD」と現在時刻が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になり、誤操作を防止することができます。

ボタン操作をできるようにするには、POWER•HOLDスイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除します。

録音した音声を聞きやすくする

再生時のノイズを低減したり、再生するファイルに適した効果を設定することで、録音した音声を聞きやすくすることができます。

1. BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「再生設定」→「エフェクト」を選び、► /ENTボタンを押す。

2. ⏮ または ⏭ ボタンで、お好みの音質を選び、► /ENTボタンを押す。
   会話や会議等の音量を聞きやすくするには、「クリアボイス1」または「クリアボイス2」を選択します。

クリアボイス 1
クリアボイス 2
音楽：ポップス

3. ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

エフェクト設定

エフェクトには、会話等の音声用に最適化された「クリアボイス 1」、「クリアボイス 2」と、音楽再生に最適化されたエフェクトがあります。音楽を再生するときは、「音楽：」表示のあるエフェクトを選択してください。

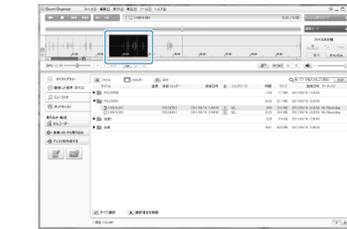
オフ	エフェクト機能を無効にします。
クリアボイス1	音声以外のノイズを低減し、声の大小を自動調整して聞きやすいクリアな音になります。
クリアボイス2	「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。
音楽：ポップス	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
音楽：ロック	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
音楽：ジャズ	高域を強調した張りのある音質になります。
音楽：ベース1	低音が強調されます。
音楽：ベース2	低音が更に強調されます。

録音した音声をパソコンで編集する

付属アプリケーションソフト「Sound Organizer」を使って、音声を区間削除する

パソコンで、付属のアプリケーションソフト「Sound Organizer」を使って、ファイルの不要な区間を削除できます。

「Sound Organizer」をあらかじめパソコンにインストールしてください。インストール方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。

1. サイドバーの[マイライブラリー]から区間を削除したいファイルが含まれる項目を選択する。
   ICレコーダーに保存されているファイルを選択するときは、ICレコーダーをパソコンに接続します。転送画面に切り替わったら、画面右側（ICレコーダー側）のファイル一覧上部のリストからICレコーダーを選択し、ファイル一覧左側のタブで情報を変更したいファイルの種類を選択します。画面が切り替わらないときは、サイドバーにある[ICレコーダー]をクリックして転送画面を表示してください。
2. ファイル一覧で区間を削除したいファイルを選択する。
3. 画面右上の[編集モード]をクリックする。
   編集エリアが表示されます。
4. [ファイルの分割]を選択する。
5. 波形上をドラッグして、削除したい区間を選択する。

波形の左下にある+ ／－をクリックすると、波形の縦軸／横軸の表示をズームイン／ズームアウトできます。横軸の表示は、スライダーをドラッグしても変更できます。

6. 選択した区間を右クリックして、表示されるメニューから[削除]を選択する。
   [このエリア以外を削除]を選択すると、選択した区間以外を削除できます。
7. [実行]をクリックする。
   確認画面が表示されます。
8. [分割の開始]をクリックする。
   選択した区間が削除されます。区間削除後のファイルは、元のタイトル名の最後に「_1」が追加されたタイトル名になります。必要に応じてタイトル名を変更してください。

ご注意
ポッドキャストは区間を削除できません。 ファイルによっては区間を削除できない場合があります。